

えのもとてつじ

榎本哲士 陶展

4月1日(水)～6月21日(日)

自然釉(燃料の薪の灰が焼成中の器物の素地に付着して自然に釉がかかった状態になったもの)の焼き物は、釉薬では出せない自然の力で色付けされた魅力があります。自然釉の魅力溢れる作品展を是非ご覧ください。



油ヶ淵写生大会 入賞作品展

6月24日(水)～7月21日(火)

油ヶ淵遊園の花しょうぶ祭り期間中に開催された写生大会で入賞した作品を展示します。



碧南高等学校美術部『有頂展』

6月27日(土)～7月25日(土)

作品は、「高校生」という今の私たち自身の写しだと思えます。作品を見るときには技能面ではなく、ちょっとだけ見方を変えて、作者が込めた「気持ち」と、作者自身の「物語」にスポットをあててみてください。



鳥居裕太作品展『永遠と延々』

7月29日(水)～9月27日(日)

二科展への参加を始めて10年経ち、自分も30歳になった節目に、あの時感じた永遠を延々かもしれないと問える展覧会にしたい…若き作家が10年間に描いたペン画・水彩・顔彩作品を是非ご覧ください。



会期中にワークショップも開催します
※詳細は広報等でお知らせいたします

近藤純一展『ガラス箱の世界』

9月30日(水)～11月29日(日)

気になる光景を箱の中に閉じ込めたいと思い、こんな情景だったかなと色々試しながら作品を仕上げるのだが、何か違う。それを繰り返すうちにいくつもの箱が並ぶことになる…作者の見た風景はどんなものだったのか…ガラス箱の世界をご覧ください。



杉浦清孝・蘭陵亭子梅『父子展』

らんりょうていしばい

12月2日(水)～1月31日(日)

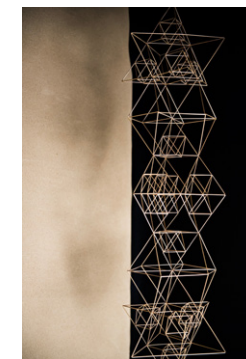
碧南の『写真家 杉浦清孝』と『妖怪絵師 蘭陵亭子梅』の父子展。世界を渡り、様々な民族の暮らしに焦点を当ててきた父、杉浦清孝。日本に古来から伝わるあやしいものを描く蘭陵亭子梅。父子の「フォークロア」をテーマに展示します。



なかそねさとこ 仲宗根知子展

2月4日(木)～3月28日(日)

フィンランドの装飾品『ヒンメリ』。自然物の自然美と造形美を模範とし、内から溢れ出る「なにか」を自身で育てたライ麦藁を使用し、赴くままに「かたち」にしています。ライ麦の無限の可能性と力強くも柔らかな美しさを感じて頂ければ幸いです。



会期中にワークショップも開催します
※詳細は広報等でお知らせいたします